

## 駒ヶ根市文化財

名称	光前寺の仁王像
種別	美術工芸品(彫刻)
指定	市・有形民俗文化財（平成元・9・21）
所在地	赤穂 29
所有者	光前寺
説明	<p>光前寺駐車場脇にある仁王門の中に、左右各 1 体の木像仁王像が安置されている。仁王は寺院守護の為二身となって寺門の脇に立つ金剛力士(こんごうりきし)像(右)と密迹力士(みつしゃくりきし)像(左)のことで、甲冑を身につけたものもあるが裸形のものも多く、向かって右 1 体は口を開き(阿(あ)像)、向かって左 1 体は口を閉じる(吽(うん)像)のが普通である。</p> <p>この仁王像の材質はヒノキ、寄木造(よせきづくり)で天衣(てんね)は完全に残っている。塗は泥絵具を用い朱色、衣紋の一部に造像当時の金泥が残っている。髪形は結髪で玉眼はめ込み、刀法は簡素であるが力強く、鎌倉時代の手法を思わせるものが残っている。</p> <p>身の総丈右の阿像 208cm、左吽像 207cm である。昭和 16 年(1941)に突風のため仁王門が大破し、同 19 年に再建された。</p> <p>この工事中、仁王の首部から銘文が発見された。「大永八年十一月七乗門院雲慶十三代慶延法眼」とある。大永 8 年(1528)は、享禄元年に改暦されているが、これによって室町時代の作と判明した。現在、市内の仏像で製作年が明らかなものとしては、最古のものである。</p>



密迹力士像（吽形）



金剛力士像（阿形）